

補助錠

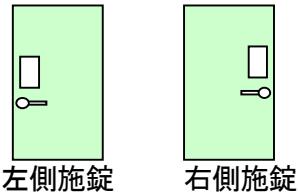
S-17C/S-17C2R/S-30C/S-30C2R/S-51C/S-51C2R

施工方法

- 施工前にドアが両開きか片開きか確認します。片開きの場合、右左勝手を確認します。
- 施工型紙の使用方法を確認した後施工と取り付けを行ってください。
- 本製品は扉厚 35~55mm まで使用可能です。(46~55mm ネジは別途オプション)

①施錠方向を確認する

室内から見た時 ストライク(受け金具)が付く方向



②施錠方向を設定する。-- 内側本体裏面の基盤左側で

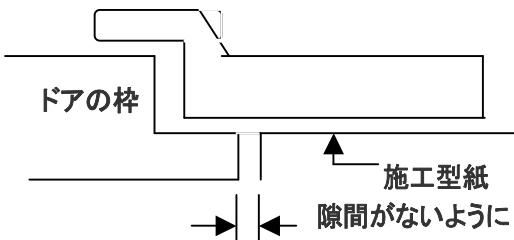
- 調整不要
- 左側施錠/右側施錠選択スイッチ



施錠方向の確認

- 手動ロック時、テンキーの#ボタンを押し閉まる方向
- 自動ロック時、内本体にストライクを当て閉まる方向

③施工型紙を取り付けする位置に置き、加工する穴の位置を表示する。ドアを閉じて室内側で下図のように、型紙をドアに密着させて正確な位置を表示する。



④表示した位置を施工する

⑤加工したドアに外側本体をゴムスペーサーを当て配線を穴に通し一緒に密着させ、内側本体の鉄板を越しシリンダーのピン(テルピス)を通す。その際、配線も通して置く。

※取付後のドア厚みが 35mm 以下の場合、シリンダーの棒を切り離すか、又は室内本体スペーサー(オプション)を増してから取り付けする。

製造販売元 新生デジタル株式会社 TEL:03-5647-2300

⑥内側本体を臨時組立してみた後、外側本体を内鉄板と固定する。ストライクを位置に置いて(内側本体との間隔は 5mm ほど)ドアの開閉やデットボルトの挿入・自働ロック状態を確認する。内側本体と鉄板を左右に動かしながら合わせる。位置が決まったら内側本体を鉄板と分離した後、外側本体と鉄板をネジで固定する。(φ5×30mm×3 本、又はφ5×20mm×3 本)

⑦外側配線を内側本体基盤の右側のコネクターに挿入する。(その際、内本体裏側からみてデットボルトが右側方向に出るように動かす) モーター部から伸びている固定線で配線が真ん中の軸に挟まらないよう固定する。あまる配線は外側本体側かドアの空洞に収納する。



⑧内側本体と鉄板をネジで固定する。

- 内本体左右側面×2ヶ所 (φ4×5mm)
- 乾電池ケース底面×2ヶ所 (φ4×12mm)

⑨マグネットの調節とストライクの固定

内側本体のデットボルト真下(A)にマグネットセンサーがあるので、本体のセンサーに反応するようストライク裏面のマグネットを入れ替える。(B-下段) テストした後、ドアの枠にストライクを固定する。(φ4×19mm×4 本)
※テスト時、先ずは M(手動ロック)・二重ロックは OFF にする。手動ロック(M)を確認した後、自動ロック(A)を確認する。

ストライクと本体との間隔: 約5mm



片開き-左側施錠時
両開き-右側施錠時

片開き-右側施錠時
両開き-左側施錠時

※取り付け後点検事項

- ストライクの挿入状態を確認する。
- 乾電池を挿入し指紋又は暗証番号・リモコン仕様はリモコンを登録し、それぞれの登録・変更・施解錠状態を確認する。
- 自動/手動ロック・施解錠ボタン・サムターン・非常キーでの作動を確認する。自動ロックは内側に人がいるようにして確認する。
- 使用者が直接指紋・暗証番号・リモコンを登録し直す。

(出荷時暗証番号は 1234)